

令和5年度

小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会

(第2回)

日 時 令和6年2月20日(火)

午前10時00分から

場 所 小牧市役所 本庁舎 4階404会議室

令和5年度第2回小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会

日 時	令和6年2月20日(火) 午前10時	
場 所	小牧市役所本庁舎 4階404会議室	
学識経験者	愛知文教大学 学び合う学び研究所 シニアフェロー	副島 孝
教育関係者	小牧市教育委員会 教育委員	伊藤 和子
	小牧市小中学校校長会 代表	兼子 正巳
	一色小学校 教頭	谷田 浩二
	味岡小学校 学校地域コーディネーター	玉置 博子
	米野小学校 学校地域コーディネーター	伊藤 恵美
	陶小学校 学校地域コーディネーター	下田 恵
児童福祉 関係者	小牧市社会福祉協議会 代表	梶田 光俊
	小牧児童クラブ 所長	岩崎 ゆき子
	小牧原児童クラブ 所長	宗宮 敦子
	本庄児童クラブ 所長	社本 明子
	味岡児童館 館長	野地 優香理
地域住民	三ツ渕小学校 家庭教育委員	小関 志保
	大城小学校 PTA母親代表	梶田 優希
欠席	篠岡小学校 学校地域コーディネーター	渡邊 祐子

**【事務局】**

おはようございます。

本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。  
ただいまから令和5年度第2回小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会を開催いたします。  
本日の司会を担当いたします、こども政策課長の小川と申します。  
よろしく願いいたします。

まず初めに、資料の確認をさせていただきます。事前に配布した資料としまして、次第、資料1 令和5年度小牧市放課後子ども総合プラン事業実施報告書（案）、資料2 令和6年度放課後子ども総合プランマニュアルの変更・追加点、参考資料①合同の体験活動に関するアンケート（まとめ）②総合プラン活動実施報告書③講師活用一覧④活動の視察まとめです。

不足等ございましたらお知らせください。

なお、参考資料①から④は内部資料となりますので、非公開とさせていただきます。委員の皆さまにつきましては、資料の取り扱いに充分配慮していただきますようお願いいたします。

本日は傍聴の申込はありませんでした。

また、会議の定足数につきましては、委員の過半数以上の出席が必要とされております。本日につきましては、会議として成立することをご報告いたします。

こども未来部次長の伊藤よりご挨拶を申し上げます。

**【伊藤次長】**

おはようございます。

こども未来部次長の伊藤と申します。川尻部長に代わり、あいさつさせていただきます。

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日ご出席のみなさまには、それぞれのお立場で放課後総合プランをお支えいただいております。この1年間本当にありがとうございました。

ここまで順次、放課後子ども総合プランを進めてまいりまして、来年度は16校全校実施となります。

本日は、今年度実施しました合同の体験活動の報告やアンケート結果についてご説明させていただき、ご意見や評価をいただくことで、令和6年度からの16校全校実施の活動につなげていきたいと考えておりますので、忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

**【事務局】**

それではここからの進行につきましては、副島委員長にお願いします。

**【副島委員長】**

お手元の次第に基づいて、会議を進めたいと思います。

議題の(1)「令和5年度事業について、合同の体験活動実施状況、アンケート結果、評価」事務局からの説明を求めます。

**【事務局】**

それでは、令和5年度事業について説明します。資料1をご覧ください。

この資料は、小牧市放課後子ども総合プランの事業実施報告書として、令和5年度の活動をまとめたものとして作成しました。

1ページ、2ページをお願いします。

(1) 合同の体験活動の実施状況ですが、12校の実施日、参加人数、実施内容を表にまとめました。★印のものが本格的な活動となっています。2ページ陶小の10月19日はインフルエンザによる学級閉鎖のため中止となっております。この表にあるように、各校、放課後子ども教室と児童クラブの従事者が相談しあって、内容を決めていただきました。お互いのアイデアを出し合って、内容を決めたり、講師さんを探したり、人数を決めたりしてきました。どの活動も、子どもたちが楽しんで参加できるような内容で、飽きないような工夫があります。放課後子ども教室と児童クラブの従事者が話し合い、連携をとって進んできています。実施して出てきた課題については、お互いに話し合っ、課題を解決しながら次の活動に生かしてき

ています。また、数回あるうちの1回は児童クラブが中心で企画するという分担をして協力し合うという学校もあります。長く続けていくには、両者の連携・相談・協力が大事だと思っています。

それぞれの活動時の様子は、別冊の参考資料②をご覧ください。活動終了時に報告書を放課後子ども教室と児童クラブそれぞれから提出してもらっています。その中から、プランの運営委員のみなさんに見学していただいた活動の報告書を印刷しました。陶小は、見学の時の活動が中止となりましたので、他の活動を印刷してあります。両方の立場からの気づきや感想、次回への課題などがあります。活動の後によかったことや改善することなどを話し合っ、次に生かしていただいていると思います。この報告書もその学校の分を各学校にお渡しして、放課後子ども教室と児童クラブが連携をとって進めていく上で参考にしてもらえたらいいなと考えています。

1校ずつ解説すると時間がかかりますので、事前に配布させていただきました。運営委員のみなさんにも見学していただき、見学の感想も参考資料④としてまとめたものをお配りしました。それらをふまえてこの後、質問や感想などをいただけるとありがたいです。

それぞれの学校で、はじめのあいさつ、終わりのあいさつ、会場への出入り、準備や片付けも両方の担当者が話し合って分担して行っていました。

講師さんを活用した体験活動は、打ち合わせの段階で、小牧市内の他の学校でも実施してもらえるかを確認してもらっていますので、講師一覧を蓄積したものを各学校に配布し、活用してもらえるといいと思っています。参考資料③として、講師一覧もお配りしましたので、ご覧ください。放課後子ども教室の講師一覧もつけてあります。このように、今まで放課後子ども教室で活用していた講師さんに加え、新たな講師さんも発掘していただき、どんどんこの蓄積は増えてきています。みんなで共有していきたいと思っています。また、今回、講師さんに依頼するとき、内容はお任せしますが、参加する場面を作ることや時間配分についてもこちらの要望を伝えることを、どの学校にもしていただきました。子どもの実態を知っている放課後子ども教室や児童クラブの従事者が子どもの実態を踏まえて要望していくことは、とても大切なので、今後も続けていけるといいなと思っています。

活動の内容や講師などの情報を市内全体で共有することで、学校をこえて、お互いに聞きやすい関係作りができてきているように思います。日程的に難しい部分はありますが、自分の学校以外の活動を見学に行ったり、講師についての情報を聞いたりして、横のつながりもできてきており、ありがたいなと感じています。以前より話題に出ていた積み木の講座も、一色小のコーディネーターさんが取りまとめをしてくださることになり、来年度の希望を集約していただいているところです。また、11月に味岡小の総合プラン「すまいるまつり」を見学したときに、「もぐらたたき」の道具があり、他の学校から、ぜひ貸してもらいたいという申し出がありました。確認したところ、快く貸していただけることになりました。このような協力もできるなと嬉しく思いました。今後も、放課後子ども教室と児童クラブの従事者の連携、そして学校をこえた部分でも連携していただけることを願っています。

資料1の3ページにお戻りください。

(2) 関係者アンケートですが、9月から11月に、児童、保護者、従事者に対して、合同の体験活動に関するアンケートを行いました。各学校、1回のアンケート実施です。児童と従事者は12校すべての学校で行い、保護者は令和5年度から実施の6校の保護者に行いました。

児童と従事者のアンケートは、本日の活動について問う項目があるので、その日にアンケートをとりますが、保護者アンケートは、対象の学校で実施し、児童クラブは、アンケートをとる活動の2週間ほど前に合同の体験活動の対象学年である登録児童がいる家庭に郵送し、放課後子ども教室は児童アンケートを実施した日に登録家庭に配布しました。

それぞれの回収数は表のとおりです。

アンケート結果は、参考資料①にまとめてありますので、そちらをご覧ください。

各学校ごとに児童用、従事者用、保護者用の順にとじてあります。先ほどもお話したように、今年度から実施の学校のみ保護者用が入っています。1校ずつの結果をここで読み上げることは控えさせていただきます、結果の総括についてお話をさせていただきますので、よろしくお

願います。実施報告書の4ページをご覧ください。

①アンケートを実施したすべての活動で、「楽しかった」と回答した児童が「楽しくなかった」「どちらでもない」と回答した児童より多くいました。どの学校の児童用を見ていただいても、「楽しかった」と回答した児童が多いことがわかります。

ただ、今回のアンケートで、「楽しくない」「もう、やりたくない」と回答した児童が他の学校よりやや多い学校もあり、気になります。子どもの興味関心はそれぞれで多様性をもっていますので、運動や工作、鑑賞というようにいろいろな活動内容を考えていけるといいかなとは思っています。全員が「楽しい」と思える活動はなかなか難しいです。そんな中、いろいろと工夫していただけていると思っていますし、他の学校の活動も参考にしていけるといいなと感じています。

②児童によって、活動の時間が「長い」か「ちょうどよい」か「短い」かは、感じ方がそれぞれですが、「楽しい」と回答した児童は、「ちょうどよい」と回答した児童が多いという傾向でした。

③児童の多くが「楽しかった」と回答した活動でも、「短かった」と回答した児童はそれほど多くなく、児童にとって概ね1時間が限界と考えられます。

④児童が今後やってみたい活動は、どの学校でも工作が一番多く、次にダンス、プログラミングやパソコン、音楽鑑賞が多く、保護者も概ね同様でした。また、自由記述では、運動（体を動かす遊び）を希望するものがたいへん多く、身体を動かす活動を望んでいるのだということがうかがわれました。

⑤放課後子ども総合プランの活動の回数を現状と同程度がよいと回答した保護者と、もっと多い方がよいと回答した保護者は概ね同程度でした。児童は、何回もやりたい児童が、たまたまやりたい児童より多いという結果でした。

この総合プランは始まったところなので、何年もかけて、保護者にも浸透していくのだと思います。保護者の中には、総合プランのことがあまりよくわからないといった声もありましたが、子どもを通じて活動の様子が伝わっていくといいなと思います。

⑥普段の活動と比べて準備がどうだったかは、「変わらない」と回答した従事者が多かった活動は、講師にすべてお任せできる内容のもので、「大変」と回答した従事者が多かったのは、準備に多くの時間がかかった内容の活動でした。工作など準備に時間がかかることが予想できた活動については、子どもの「工作をやりたい」という気持ちをくんで、計画的に早い時期から材料集めなどを進めて、「大変だったけど、子どもの笑顔に癒された」などの感想が書かれた学校もあり、ありがたいと思いました。

⑦どんな意義があるかという問いに対して、「普段できない体験ができる」と回答した従事者が多く、「いつもと違う仲間と過ごし、よい刺激になる」という項目も合わせて回答した従事者が多くいました。

⑧合同の体験活動は、年に1から3回が望ましいと回答した従事者が最も多く、年に4から6回が望ましいと回答した従事者は少ないという結果でした。

⑨気になることの記述については、各校ごとに、その日の活動について、従事者がいろんな視点から書いています。ぜひ、学校ごとにみんなで共有して、課題を解決する方へ向けて話し合っていき、次回につながるようにするといいと考えます。

⑩自分の学校だけではなく、他の学校の実践や課題解決に向かった経験などを見たり聞いたりすることで、いいアイデアがうかぶこともあると思います。今後も市内全体で、それぞれの会議などで共有しながら進めていけるとよいと思います。

いろいろな気づきがあったと思います。回数を重ねるほど、放課後子ども教室と児童クラブの従事者の連携や分担がうまくいくようになっていくと感じています。子どもへの指導についても、基準が両方で違うと感じている方もみえます。ぜひ、活動の内容のみではなく、指導の視点についてもお互いが歩み寄るという姿勢で話し合っていけるとよいと思います。

従事者の中には、「負担感」を感じている方もいらっしゃいます。総合プランの意義を見出せない方もいらっしゃいますが、すごく大変なことではなく、この総合プランの活動も日常の活動のひとつとらえて、取り組んでいただけるといいなと思います。回数を重ねて、内容や方法を工夫していく中で、負担感も減っていくといいなと思います。どの学校でも、従事者が当事者意識をもって、話し合いをすすめると、「無理のない総合プラン」の実現に向かうこと

ができると思います。今まで通り、必要でしたら事務局にもご相談いただき、一緒に考えていきたいと思います。

このアンケート結果は、各学校に学校の分は配布します。今後の活動にいかしていただけるとよいと思います。

活動報告とアンケートについては以上です。

#### 【事務局】

資料1の4ページをご覧ください。

(4) 放課後子ども総合プランの周知・広報としては、市ホームページに掲載、利用登録児童の保護者あてに、令和5年度の事業開始に合わせて案内資料を郵送、学校運営協議会での活動報告を行うことにより実施しました。

5ページをご覧ください。(5) 放課後子ども総合プランを推進するための活動を表にまとめました。7月19日に、今年度実施校12校の児童クラブ所長、指導員と放課後子ども教室従事者を対象に情報交換会を行いました。今年度の活動内容、講師、消耗品などについて情報交換をしました。9、10月に令和6年度実施の4校を対象に学校への説明と従事者への説明会を行いました。また、児童クラブの所長会議や、学校地域コーディネーター情報交換会などでも、総合プランについての活動報告をしてもらいました。

6ページをお願いします。

令和5年度事業に対する評価で、令和4年度末の「令和5年度の活動に対する提言」を受けて①～④のことについて、それぞれ前段の内容は、令和5年2月におまとめいただきました。「令和5年度の活動に対する提言」となり、矢印以降が、その実施状況です。

①についてです。内容や場所によって、児童クラブ全員が参加できるものがあつたときには、全員参加で実施した学校がありました。「大道芸」「防災教室」などです。「無理のない範囲」で、全員参加が可能なら実施していくのもよいと考えます。

②についてです。内容によって両方の従事者が相談しあい、児童クラブ従事者の人数を少なくしたり、送り迎えのみにしたり、前半と後半で交代したりして柔軟に対応することができた学校もありました。

③についてです。実施校の情報交換会や、それぞれの会議で実施報告を行い、会議に出ていない従事者にも伝えてもらうことで意義を理解してもらいました。体験活動を重ねていくにつれて徐々に理解が進んだのではないかと思います。

1回終えるごとに、従事者が課題等を出し合い、次回へつなげるようにし、アンケートにも、次回へつなげる意見を記述してもらうようにしました。

④についてです。令和4年度末に、児童館館長会議で総合プランの説明をしたり、総合プランの運営委員でもある児童館代表の方から声をかけてもらったりして、積極的に連携して活動を実施する学校が増えました。小牧南児童館、西部児童館、篠岡児童館などです。今年度も2月に児童館の館長会議に行き、協力依頼をしてきました。

説明については以上となります。

#### 【副島委員長】

議題1の「5年度の事業」について説明していただきました。全体のことでいいですし、部分のことでいいですし、ご感想やご意見をお願いします。来年度は全校実施となります。それに向けてのご意見でもいいですのでお出してください。

各校の合同の活動の実施状況からご意見はありませんか？

「大道芸」については、コロナ禍という状況の中で、多くの学校でやっていただいたのですが、今後はいろいろなことが通常通り再開されていく中で、同じようにやってもらえるのでしょうか？

#### 【事務局】

コロナ禍だったから、3万円で小牧市内の学校でやっていただきましたが、通常の依頼が増えてきたので、今後は10万円なら受けることはできるけど、そうでないなら難しいと言われ

ています。

**【副島委員長】**

そういう状況もふまえて、考えていかなければならないということですね。コロナ禍というのは、特別な状況だったということです。

関係者（児童、従事者、保護者）アンケートについて、何かご意見はありますか。

**【伊藤副委員長】**

いろんなご意見があり、耳が痛い事、頭が痛いことも多々書かれています。子どもが嫌がる原因があるのなら集まる意味がなくなってしまうので、考えなければいけないと思います。先ほどのお話にもあったように、子どもの趣味や関心は多種多様ですし、子どもの特性もあるので、難しいとは思いますが、子どもたちの笑顔が守れたらいいなと思います。「楽しかった」と言って帰ってほしいと思っています。あまり言うともみなさんのご負担になってはいけませんが、みなさんが困っていることもここで共有できるといいと思います。

**【副島委員長】**

せっかく努力してやっていたのですが、思うような反応が子どもから出ないこともあると思います。そういう意見もここを出して、どうしたらよいかと考えて今後に生かしていけるといいと思います。

**【伊藤委員】**

放課後子ども教室だと元気だけど、合同だと嫌がる子もいます。

**【副島委員長】**

両方にメリットがあるのが、総合プランだと思っていますが、なかなかそうはいかないこともあると思います。子どもが両方から来ますが、その反応はどうでしょうか。片方が楽しくてもう片方が楽しくないというようなことはありますか？ そういうときは、どうしたらいいかということですね。やっている方の中で、そう感じることはありますか？ 内容にもよると思います。じっと聞いているだけでは、子どもたちは飽きてしまうこともあると思います。学校の教育活動も体験や参加を取り入れています。プランでも一緒に参加したり動いたりすることが大事だと思います。そのほうが子どもたちが満足するかもしれませんね。直接講師にそういう内容をお願いするといいですね。必要なら市の総合プランコーディネーターに入ってもらうこともできます。

**【伊藤副委員長】**

見学のまともにも書きましたが、味噌小の「すまいるまつり」を見学したときに、従事者も子どもたちも嬉しそうで笑顔いっぱいでした。「型にはめないでのびのびやらせたいという思いでやっています」という話を従事者の方から聞きました。子どもたちがやりたいことに取り組んでいて「これ、わたしが作ったんだよ」などの声も子ども達から聞こえてきて、こども中心で、子ども主体で活動しているからの笑顔だなと感じました。これがめざす姿なのかなと思いました。子ども達は活発なので、まとまらない面もあるかもしれませんが、導き方をかえるとうまくいくこともあると思います。いつも100点満点の活動とはいかないとは思いますが、反省点は次に生かしてちょっと考え方をかえることが必要なときもあると思います。

**【副島委員長】**

活動の様子を見ながら、当事者同士で今度はこうしようという話をしていくといいと思います。

周知・広報についての報告、推進していくための活動の報告もありました。こういうことを重ねていって、周知されていくと思います。

**【梶田（光）委員】**

継続していくのは大変だと思います。それぞれの従事者同士の打合せの時間はどうされていますか？　そこが充実していかないと、うまく進んでいかないとと思いますが、どのように確保されていますか？

**【岩崎委員】**

紙媒体での打ち合わせと、放課後子ども教室の方が、児童クラブの子の送り迎えをしてくださるので、そのときに打ち合わせをしています。時間がなく、クラブの従事者はなかなか全員は参加できていませんが、相談はしています。

**【宗宮委員】**

最初の計画の相談は従事者が集まって長い時間をかけて話し合います。その後は活動の都度、放課後子ども教室の後、クラブによってもらって短い時間で連絡しあって進めています。想像したことと実際の活動が違うこともありますので、動きが不十分なときがあり課題だなと思っています。

**【社本委員】**

コーディネーターさんが、積極的に進めて声掛けをしてくれています。最初に計画して、やりたいことの希望などは1時間ほど話しました。その後は、電話やメールを使って連絡しあっています。もっと会って話していきたいと思っています。

**【下田委員】**

長期のとき児童クラブのアルバイトに行っているので、所長さんとはよく話をして、連絡もとっています。総合プラン当日に所長以外の方が引率にみえると、ちょっと伝わっていないこともあります。

**【伊藤委員】**

年間の最初の打合せは、両方で1時間ほどしっかり行いました。その後は、ライングループを作って共有し、連絡しあっています。

**【玉置委員】**

それぞれの活動の場所が近いので、活動がやりやすい環境で、その都度話したり相談したりしながらお互いに声をかけあって進めています。年間計画を立てますが、そのうちの1回は児童クラブさんに企画をお願いしてやっています。当日人数がかわることもあります。指導員の数を増やして対応しています。

**【副島委員長】**

ライングループのお話もありましたね。私も区長をやっていますが、ライングループを作っています。すると、だんだん同じイメージができてきて情報を共有できるようになってきました。仕事をしながらですので、時間がしっかりとれるわけではなく、いろんな方法を駆使して補うことも必要ですね。

評価について話をすすめます。

従事者のみなさんに理解してもらうために、積み重ねて話したり体験する中で説明したりしてやっていくことが大切ですね。打ち合わせも大事だと思います。

児童館との連携についても、進めていますね。児童館の活動との交流など、実例がありましたらお願いします。

**【野地委員】**

今年も児童館の館長会議で、連携についてお話をいただきました。今年度は、工作を教えに行った活動の報告が西部、小牧南、北里児童館からありました。放課後を楽しく過ごすという点では総合プランと同じなので、来年度以降も児童館としてぜひ協力していきたいと思っています。

ます。今年度の活動の中で依頼があったときに、児童館として経験させたいことがあったのですが、材料費の関係でできなかったという話がありました。予算があると思いますので、やれる範囲で考えたいと思っています。講師の紹介などもできると思いますので気軽に声をかけてください。

#### 【副島委員長】

児童館の活動と総合プランの活動は、ぴったり同じではないですが、お互いにヒントになることはあると思います。今後も情報提供したり、一緒にやれることはやっていったりすると思います。

#### 【副島委員長】

では、議題2「令和6年度事業」について、事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局】

では、まず7ページ「2. 令和6年度の活動に対する提言」です。

今までの活動内容や、先程のアンケート結果等を踏まえて、次年度の活動に対する提言として記載するものです。

##### ① 消耗品について

通常のコラボ活動は、1回2,000円、本格的な活動は6,000円としているが、学校によって参加人数が違うことを考慮して予算を決めるとよいのではないか、というご意見もいただいています。6年度は全校実施となるので、各学校の実施回数と市の予算の差額分を、試行的に各校の児童数に合わせて割り振り、予算を増額するよう検討して7年度に備えていきたいと思えます。

##### ② 小学校間の情報共有について

全校実施となり、活動内容・講師・放課後子ども教室と児童クラブ従事者との連携などについて、市内全校間で情報を共有して進めることが必要。それぞれに行っている会議や放課後子ども教室と児童クラブ従事者の両者が出席する会議を活用して今後も情報共有をさらに進めていくとよいと思えます。

今は事務局の案が2つ書いてあるのみですが、実際に活動の様子をご覧になられたときの所感も踏まえ、追加・修正などのご意見があれば、いただきたいと思えますのでよろしくをお願いします。

続いて、令和6年度の事業について説明いたします。

資料1の8ページをご覧ください。

(1) 導入スケジュールにあるように、小牧市放課後子ども総合プランについては、令和3年度の小牧、光ヶ丘小学校2校でのモデル事業に始まり、その評価・検証を踏まえて段階的に実施校を増加してきました。令和4年度から6校、令和5年度は、12校で実施し、そして、令和6年度には、全16小学校で実施することになります。

(2) 運営委員会の開催は、年2回実施予定です。さらに、1回、評価・検証のために合同の体験活動を視察いただきます。

(3) 協議会の開催は、年に1回、放課後子ども総合プラン実施校の学校運営協議会にて放課後子ども総合プランの活動報告を行います。こちらも今年度と同様です。

(4) 基本的な実施方針は、小牧市放課後子ども総合プランの実施に関しての基本的な内容です。

まず①合同の体験活動の回数は、基本が学期に2回と、それに加えて年に1回、本格的な体験活動を行います。本格的な体験活動は、日数が最も長い2学期中に行うことを基本とします。

次に②ボランティアの依頼先ですが、必ずしもそこに記載の団体の中から選ぶというものではありませんが、参考として、社会福祉協議会ボランティアセンターを含め4団体を記載してあります。それ以外にも、今年度も活用していただいています。他の学校の講師活用一覧も

配布しています。参考資料③ をご参照ください。

講師の活用については、各学校の講師活用一覧を、毎年、蓄積していくことや講師との打ち合わせの中で、来年度につながるように話をすすめることが大事です。また、他の学校でも依頼があったら引き受けてもらうことは可能か、同じ講師謝礼で引き受けてもらえるか、何人までなら可能か、などを話しておくことつながるし、広がっていくと思います。みんなの共有財産として活用していきたいと思います。

③参加児童ですが、合同の体験活動は基本的に放課後子ども教室の活動をベースに実施するため、放課後子ども教室の登録児童は全員参加対象とし、児童クラブから参加する児童は活動内容、活動場所に応じてその都度決めることとします。なお、学校によって放課後子ども教室の対象学年が異なりますが、基本は児童クラブから参加する児童の学年も、公平性の観点からその学校の放課後子ども教室の対象学年に合わせることにします。

9 ページの表のようになりますが、参加児童が多くなり過ぎる場合は、例えば1学期の1回目の合同の体験活動では3年生、2回目は2年生を対象にするなど限定し、広い場所で行う2学期の本格的な活動では全学年を対象にすることも考えられます。基本的には、活動内容や場所を踏まえて、年間でバランスを取っていく考え方とします。あくまでも基本的な考えなので、学校の実情に合わせて、内容によっては全員参加する活動があってもかまいません。

④従事者ですが、普段の放課後子ども教室従事者に加えて、児童クラブから数名の職員が引率・児童対応で従事します。活動の都度、学校地域コーディネーターと児童クラブ所長が相談して決めることとします。ただ、学校ごとの子どもの人数や指導者の人数など、実情にあわせて柔軟に対応していただけるとよいと思います。

⑤活動場所の借用ですが、学校に対してその都度場所を借用します。令和6年度から新たに実施する4校につきましては、既に事務局から依頼させていただいております。

⑥合同の体験活動に係る費用ですが、消耗品費は、1校あたり、最大で18,000円です。ただし、先ほども話したように、来年度は全校実施となるため、試行的に各校の児童数に合わせて1校あたりの予算額を18,000円から増額するよう検討していきたいと考えています。

講師謝礼のうち、年1回の本格的な活動分は30,000円を上限とし、その他の活動は1回5,000円または、7,000円としたいと思います。放課後子ども教室の講師謝礼を5,000円に引き上げますので、それに準じて5,000円とします。また、本格的な活動の謝礼30,000円については、例えば、お願いした講師さんが20,000円で承諾いただけた場合、残りの10,000円を他の講師さんを呼ぶ講座とするというような活用の仕方もOKです。

協力謝礼として、合同の体験活動を行うため、講師を呼ばず、道具を借りて実施する場合の謝礼を1回3,000円とします。

⑦費用徴収ですが、放課後子ども総合プラン実施校となった場合でも、従来の児童クラブ費、または放課後子ども教室の実費と変わらない額を保護者から徴収します。

⑧活動時の保険ですが、今年度と同様となっております。

最後に⑨利用者への周知ですが、学校毎に放課後子ども総合プランを実施することを、児童クラブ利用者は2月頃の令和6年度加入決定通知書を送付するとき、放課後子ども教室利用者は5月頃に登録の書類等を送付するときに案内を同封します。

令和6年度以降は、このような形で引き続き事業を継続していきたいと考えております。

### 【事務局】

続きまして、資料2をご覧ください。こちらは実際に事務を行っていただいている方々の参考となるようマニュアルを配布していますが、5年度からの訂正・追加の部分のみ説明します。講師謝礼に関する部分です。講師謝礼をあげることになりましたので、本格的な活動なら上限30,000円、通常の活動なら5,000円または7,000円のいずれかとなります。

消耗品費については、先ほども試行的に学校に児童数に合わせての増額を検討します。

このマニュアルは、令和6年4月1日版として、令和6年度実施16校に適用するものですが、今後の状況を見て、必要に応じて改訂等を行っていく予定です。来年度実施の4校には印刷して配布し、他の12校については、データを送りたいと思います。児童クラブは、共有フォルダから活用していただきます。

説明は以上です。

**【副島委員長】**

今の説明についていかがでしょう。

**【伊藤副委員長】**

消耗品費ですが、児童数の一人あたりいくらという考えもあるかと思いましたが、当日の欠席や準備など従事者の方に負担をかけることになるので、今の提案のように、学校の児童数に合わせて増額ということはいいと思います。

**【副島委員長】**

来年度は全校実施なので、それに向けて「提言」としてご意見があったらお願いします。

提言についてはご意見もないようですので、提言を頭においての活動をお願いします。来年度より全校での実施となりますので、本運営委員会も、来年度をめどにするのもいいと思います。

いろんな立場の方に出席いただいているので、来年度のことについてお聞きします。

**【小関委員】**

地域コーディネーターの方も児童クラブの方もお忙しい中、集まって考えていただきありがとうございます。

**【梶田（ゆ）委員】**

体を動かすことがやりたいと子どもたちは希望していることがわかりました。「大道芸」はとてもよかったです。本物にふれることはなかなかできないので、文化庁のプロの方をよぶという事業も活用するといいいと思います。

**【兼子委員】**

放課後子ども教室のスタッフの謝礼はどうなっているのかなと思いました。やる気をもってもらうためにも今後考えていただけるといいと思いました。

**【谷田委員】**

いろんな講師の方がいらしているいろんな活動ができることはありがたいことだなと思いました。講師一覧の表もあって共有できるのでいいと思いました。内容や準備等も含めた一覧もあるといいのかなと思いました。

**【副島委員長】**

子ども達が体験できる活動は、学校の教育活動も含めてたくさんあります。総合プランの活動の中でもやれることはやっていこうという考えです。子どもが減ってきて、人口も減ってきている今、大きい目で見るとこの総合プランも少子化対策だと思います。子ども達が楽しい、いい体験をして「生まれてきてよかったな」「生きていくって楽しいな」と思ってくれたら嬉しいです。私たちがやれることは何か、やるなら有意義なものにしたいという願いもこめられています。この総合プランが始まった時から委員をやっていますが、事務局と委員のみなさんと検討しながら、充実してきていると思います。あとは中身だと思います。学校内も学校間も情報共有していけるといいと思います。

**【伊藤副委員長】**

講師一覧は、宝物にみえます。講師の力も借りつつ、みなさんの工夫にも感謝しかありません。また、この宝物が増えていくことを願っています。

**【副島委員長】**

講師一覧の「積み木遊び」も、自然保護の団体との協力でなりたっています。さらに充実してくるといいですね。

では、この事業実施報告書の通りでいいということですね。

**【梶田（光）委員】**

ボランティアセンターの講師もぜひ活用してください。講師さんの中には高齢の方も多いですが、子どもとのふれあいも大切だと思います。遠慮なくお声がけください。

**【副島委員長】**

今日の議題に関していろいろご意見いただきましてありがとうございました。

では、今日の議題はここまでにして、事務局の方に司会をお返ししたいと思います。

**【事務局】**

それでは次第「3その他」ですが、本日の資料1「令和5年度 小牧市放課後子ども総合プラン事業実施報告書」は、実績が確定しましたら、教育委員の皆様へ報告し、その後校長会にも報告いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、複数回にわたる委員会にご参加いただき、また、貴重なご意見を数多くいただきましてありがとうございました。

令和6年度は、全小学校16校で実施となります。事務局といたしましても、引き続きご意見をいただきながらよりよい小牧市放課後子ども総合プランの姿を模索してまいりたいと考えておりますので、お気付きのことがあれば、いつでもお声かけをいただきたいと思います。

これをもちまして、令和5年度第2回小牧市放課後子ども総合プラン運営委員会を閉会します。ありがとうございました。